

第 22 回 歴史リレー講座「平城京の寺院と僧侶」 河野良文氏（大安寺貫主）（H28.7.17）

『日本書記』によると、百濟からの仏教伝来は欽明天皇 13 年（552）。すでに神道が確立されている日本への導入は豪族間で賛否が分かれ、崇仏派の代表が蘇我氏、排仏派の中心が物部氏でした。のちに十七条の憲法を制定した聖徳太子は、国を整え守っていくためには仏教精神が必須と考えました。その第一条「和を以て貴しとなす」には、「頑なな自我を和の心で包み、柔らかな状態に保てば争いは防げる」という太子の理念が込められています。ちなみに、僧侶という言葉はサンスクリット語「サンガ」からきており、元々は「仲の良い人々の集まり」という意味。やがて釈迦の教えを守り後世に伝える集団を指すようになりました。

さて、飛鳥の都には 4 つの大きな寺がありました。まず、蘇我氏の氏寺である飛鳥寺（588 年）。のちの元興寺です。大官大寺（640 年）は舒明天皇が権威の象徴として建立しました。これが大安寺の前身です。薬師寺（680 年）は天武天皇が妃の持統天皇の病氣平癒を願って造ったもの。そして川原寺（670 年）は天智天皇の建立とされています。このほか、藤原氏の氏寺である厩坂寺（^{かわはらでら}のちの興福寺）があります。

遷都とともに飛鳥から平城京に移された大安寺、薬師寺、元興寺、興福寺、これらに東大寺、西大寺、法隆寺（唐招提寺の場合も）を加えて南都七大寺と呼びます。平城京は東西 5.9km 南北 4.8km という規模を誇りました。その中で大安寺は左京の六条と七条をまたいでいます。左京は右京よりも重要視されたため、長屋王など高級官吏の邸宅もありました。また、大安寺の南方にある東市には全国からの物資が集積されました。ここには物だけでなく様々な人々が集い、学問や文化までも支える特別な地区でした。

奈良時代の仏教は伝来後まだ 200 年経つか経たないかで、まずは基礎を固める時期だったといえます。当時の僧侶は經典の研究や学び合い、山にこもっての修行などに明け暮れたものです。さらに、民衆への布教や社会事業にも貢献しました。当時栄えた宗派が南都六宗（三論宗、法相宗、華嚴宗、成実宗、俱舎宗、律宗）で、学問的要素の強さが特徴です。このうち三論宗は「空」という考えを哲学的に深める学問ですが、残念ながら現存しません。法相宗は人の心の問題を扱います。華嚴宗は毘盧遮那仏を崇拜。成実宗、俱舎宗はそれぞれ三論宗と法相宗に付随する宗派です。律宗は鑑真によって伝えられました。

この時代の有名な僧は行基、鑑真などでしょうか。案外知られていませんが、『日本書記』の中で仏教の流れを執筆したのが道慈であろうと言われています。彼は国家が認めた優秀な僧（官僧）でした。702 年に入唐、718 年の帰国後は大陸の技術を基に大安寺の伽藍修復も関わります。国分寺と国分尼寺建立の発案もしています。同時に、長屋王からの宴席の招きを丁重に断るなど、僧としての本分をわきまえた人物でした。

同じ官僧である玄昉は 717 年に入唐し、膨大な数の経巻を携えて帰国しました。その後、宮中に入りますが、権力をほしいままにしたため政敵とみなされ、大宰府の観世音寺に流されるという不幸な晩年を送りました。さらに奈良時代末の道鏡も官僧です。病を患う孝謙天皇に仕え法皇まで登りつめますが、彼もやがて失脚。流された下野（現在の栃木県）の薬師寺で亡くなりました。

最後に、渡来僧と大安寺の関わりについてです。天平 5 年（733）、第九次遣唐使船上に栄叡と普照の若い留学僧の姿がありました。当時、普照は大安寺の僧でした。736 年、2 人の要請を受けた菩提僊那が渡来。大安寺で学僧に華嚴経を教え導いた彼は、東大寺の大仏開眼法要の導師を務めたことでも知られます。そして 754 年には栄叡と普照の粘り強い働きが実を結び、鑑真が渡来します。このほか、最澄と空海も大安寺にゆかりの深い僧です。最澄の師匠は行表という僧で、渡来僧の道璿に学んだ大安寺の別当でした。空海も大安寺で仏教の基礎を学んだのち、高野山で真言宗を開祖しています。以上のように、仏教の立役者として重要な僧が数多く関わった寺が大安寺だということも心に留めていただければ幸いです。

平城京の寺院と僧侶

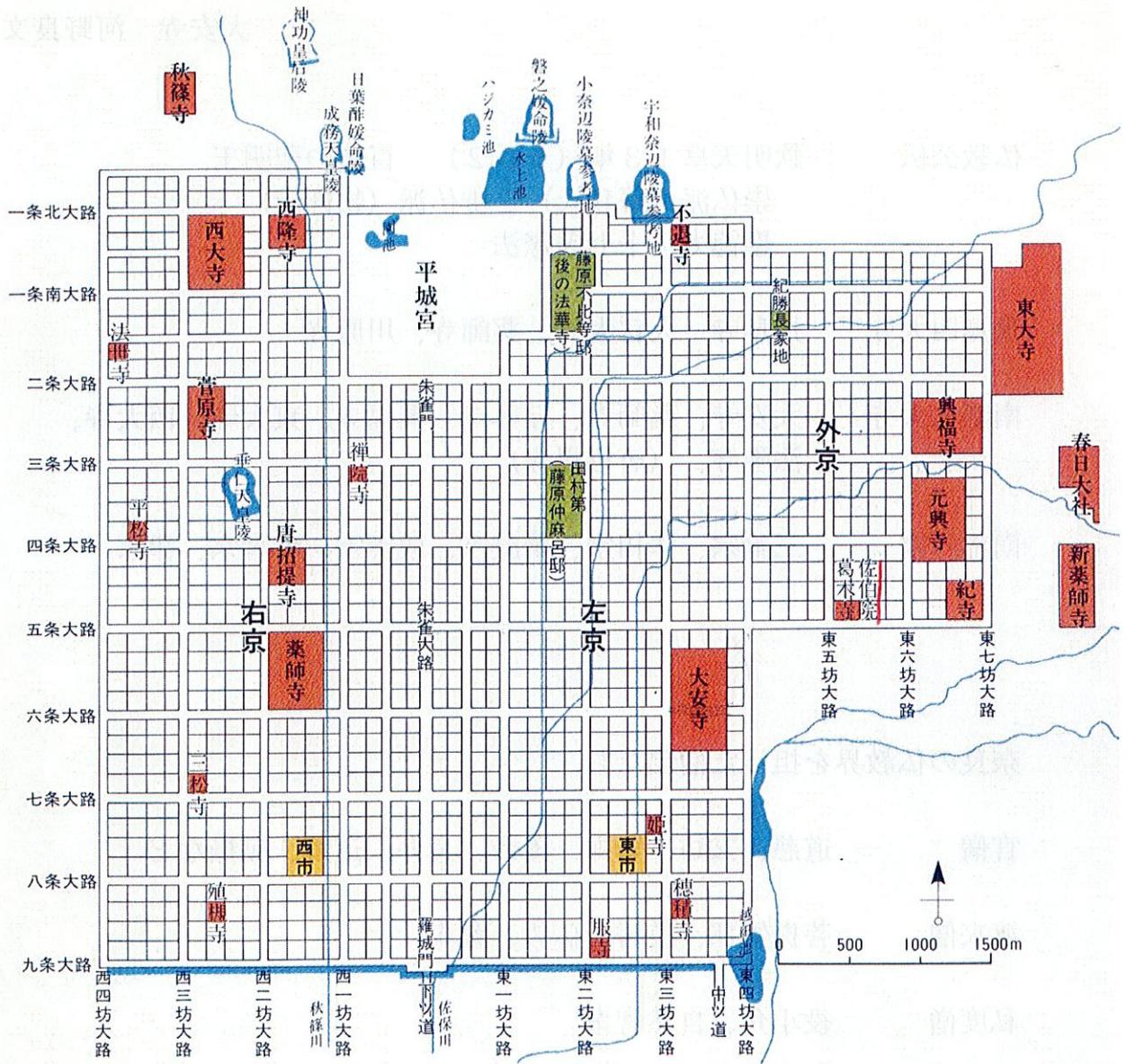
大安寺 河野良文

- 仏教公伝 欽明天皇13年(552) 百済の聖明王
崇仏派(蘇我氏)と排仏派(物部氏)
聖徳太子十七条憲法
- 飛鳥四大寺 飛鳥寺 大官大寺、薬師寺、川原寺
- 南都七大寺 大安寺、薬師寺、元興寺、興福寺、東大寺、西大寺、
法隆寺、(唐招提寺)
- 南都六宗 三論宗、法相宗、華嚴宗、成実宗、俱舎宗、律宗

奈良の仏教界を担った僧侶たち

- 官僧 道慈、玄昉、審祥、護命、良弁、道鏡、勤操など
- 渡来僧 菩提僊那、道璿、仏哲、鑑真
- 私度僧 役小角、自然智衆
- 社会事業をなした僧 道昭、行基など
- 入唐僧 道慈、玄昉、栄叡、普照、永忠、最澄、空海など

平城京の規模



平城京の条坊

東西 約 5, 9 km 南北 約 4, 8 km

朱雀大路 幅約 70 ム

大路 幅約 24 ム

小路 幅約 8 ム